

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成20年5月22日(2008.5.22)

【公開番号】特開2002-211792(P2002-211792A)

【公開日】平成14年7月31日(2002.7.31)

【出願番号】特願2001-10272(P2001-10272)

【国際特許分類】

B 6 5 H 7/06 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 7/06

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月18日(2008.3.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

シート搬送路の適宜個所に二つ以上設けられ、シートの通過を検知する検知手段と、前記検知手段の検知結果に基づいてシートの詰りを確定する制御手段とを有し、前記制御手段は、各前記検知手段間に存在するシートの枚数が記憶され、この記憶と前記検知手段の検知結果に基づいて、シートの詰りの有無を検知することを特徴とするシート詰り検知装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

前記制御手段は、シートのサイズに基づいて、各前記検知手段間の長さにおいて存在するシートの枚数が記憶されていることを特徴とする請求項1または2記載のシート詰り検知装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ジャムの原因となったシートを処理した後、シート搬送路上にある残りのシートを排出する際、それぞれのシートの搬送をチェックしながら排出するようにしたシート詰り検知装置に関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するため、シート搬送路の適宜個所に二つ以上設けられ、シートの通過を検知する検知手段と、前記検知手段の検知結果に基づいてシートの詰りを確定する制御手段とを有し、前記制御手段は、各前記検知手段間に存在するシートの枚数が記憶され、この記憶と前記検知手段の検知結果に基づいて、シートの詰りの有無を検知することを特徴とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、検知手段は、シートの先端が通過したことをカウントする第一カウント部と、シートの後端が通過したことをカウントする第二カウント部とを有することを特徴とする。さらに、制御手段は、シートのサイズに基づいて、各検知手段間の長さにおいて存在するシートの枚数が記憶されていることを特徴とする。なお、シート搬送路は、シート供給部からシート排出部を有することを特徴とする。